



# 道徳だより

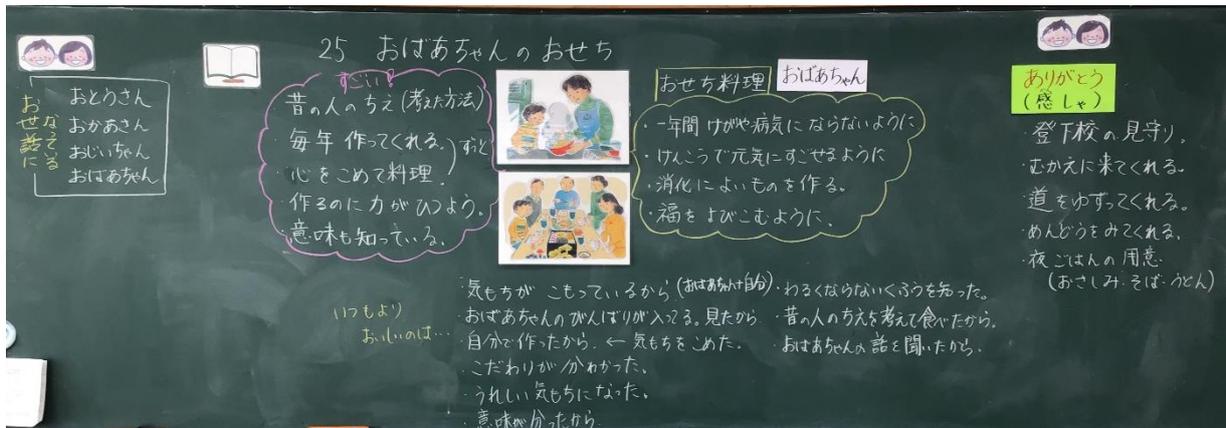


1 / 19 (木)

## 「おばあちゃんのおせち」の学習から

「自分たちは、多くの高齢者に支えられて生活していることを知り、高齢者に対して尊敬と感謝の念をもって生活しようとする。」について考える学習を行いました。

主人公は、おばあちゃんの家に行き、おばあちゃんと一緒におせち料理を作ることで、その大変さやおばあちゃんの思い、さらに、一品一品に意味があることや昔の人の知恵などを知ります。子供たちは、料理がいつもよりおいしく感じたわけを考えました。「自分も一緒につくったから。」「おせち料理の意味や昔の人の知恵を知ったから。」「おばあちゃんのみんなを思う気持ちがこもっているから。」という意見がでました。



学習の終わりには、どんな人たちが自分たちの生活を支えてくれているのかを考えました。自分の祖父母や見守りボランティアの方々の存在に気づき、感謝の気持ちをもつことができました

赤ちゃんとのおせちに入る時ついでに  
おじいちゃんにつれていってくれた。  
しゃべりたいが分からない時おしえてくれた。  
いしょに外で遊んでくれた。  
どう下校のときのボランティアさん。  
ふらいごの時にかえらせてくれた。  
おかしとおせんぼがいないときおせちを作  
してくれた。  
おじいちゃんを作ってくれた。

登校中下校中にあるボランティアさん  
おばあちゃんの家に行くとおせち  
仕事を休んで出向かえてくれる。  
おばあちゃんはいつも行くとおいしいおせちを作ってくれる。  
おじいちゃんはおせちの作り方を教えてくれる。  
おばあちゃんはおせちの作り方を教えてくれたりする。  
ボランティアさんは登校のとき見守っていてくれる。  
おじいちゃんはおせちの作り方を教えてくれた。